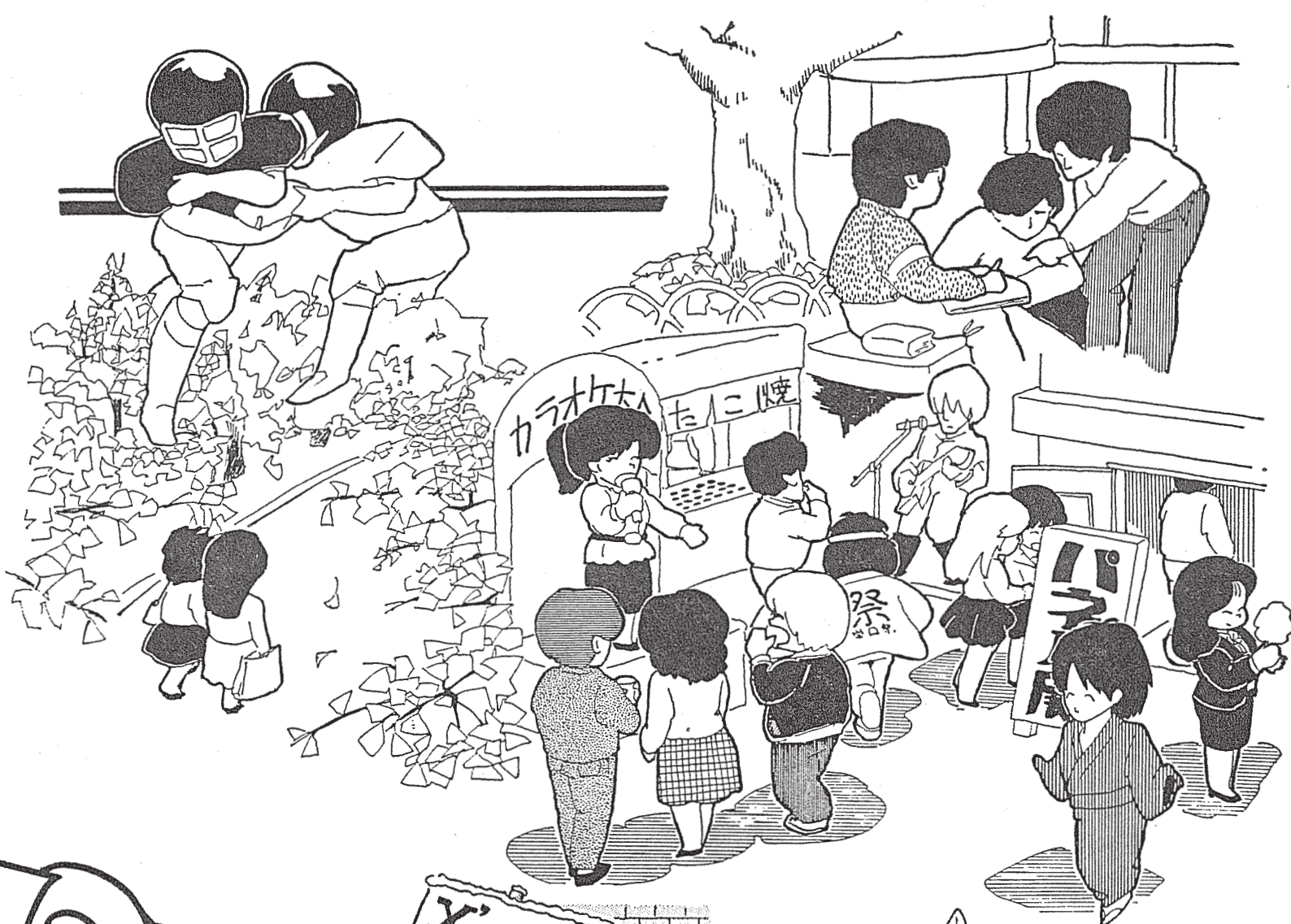
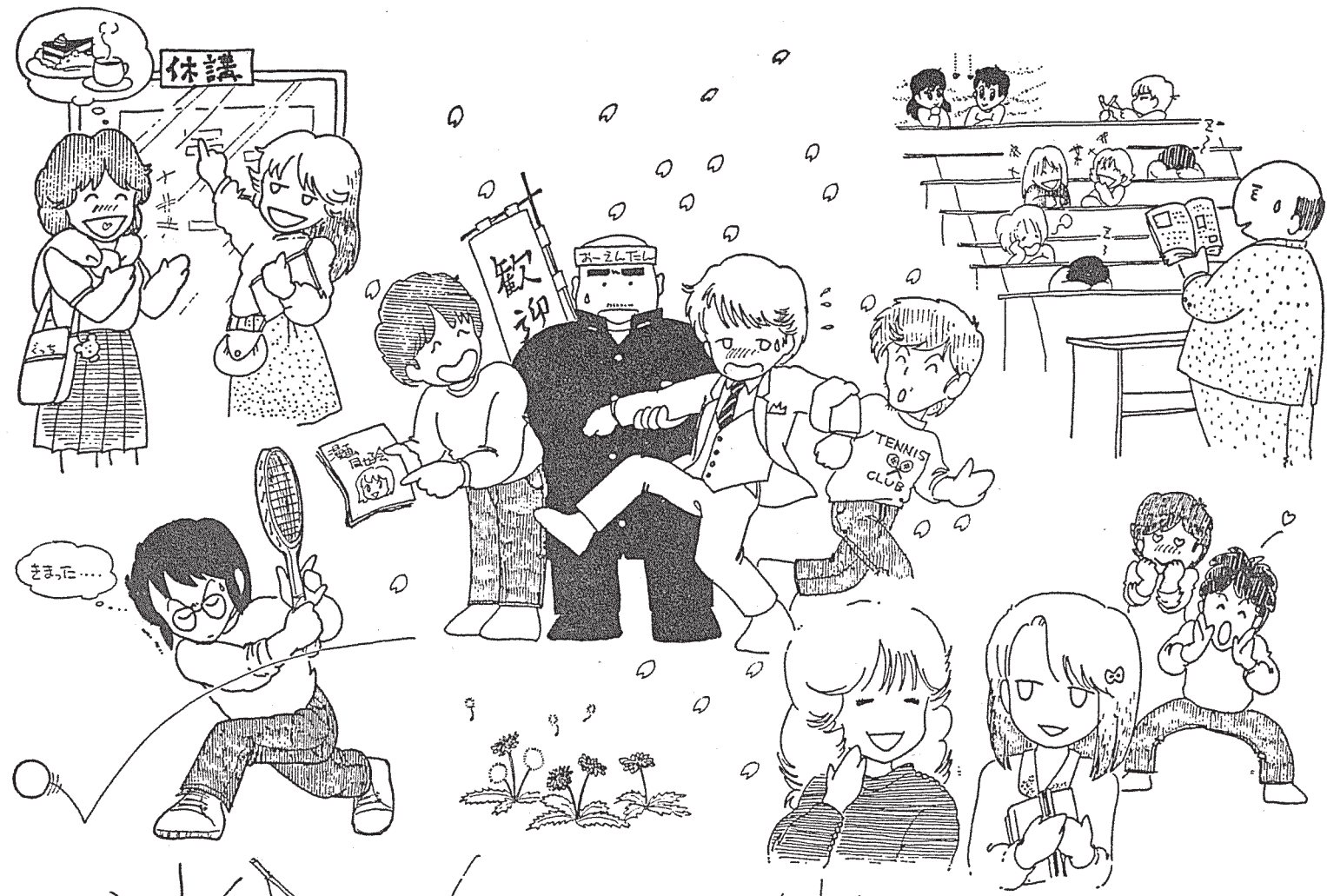
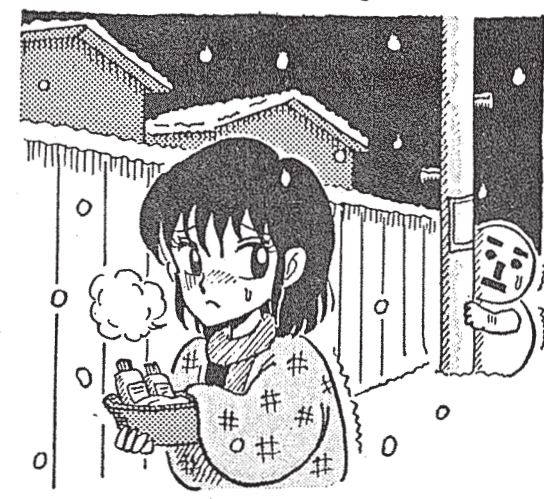
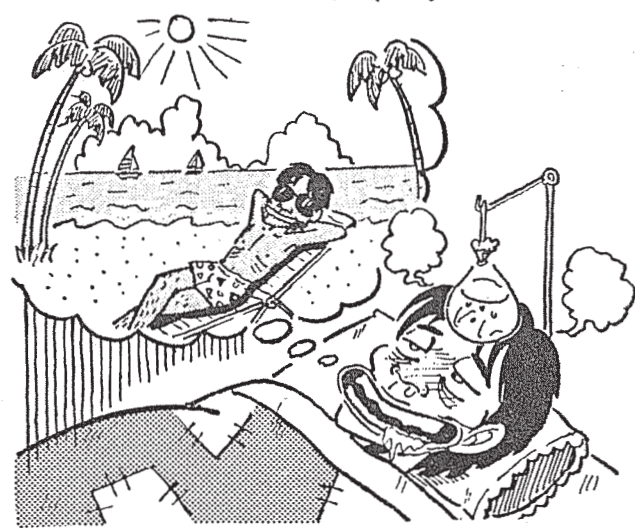
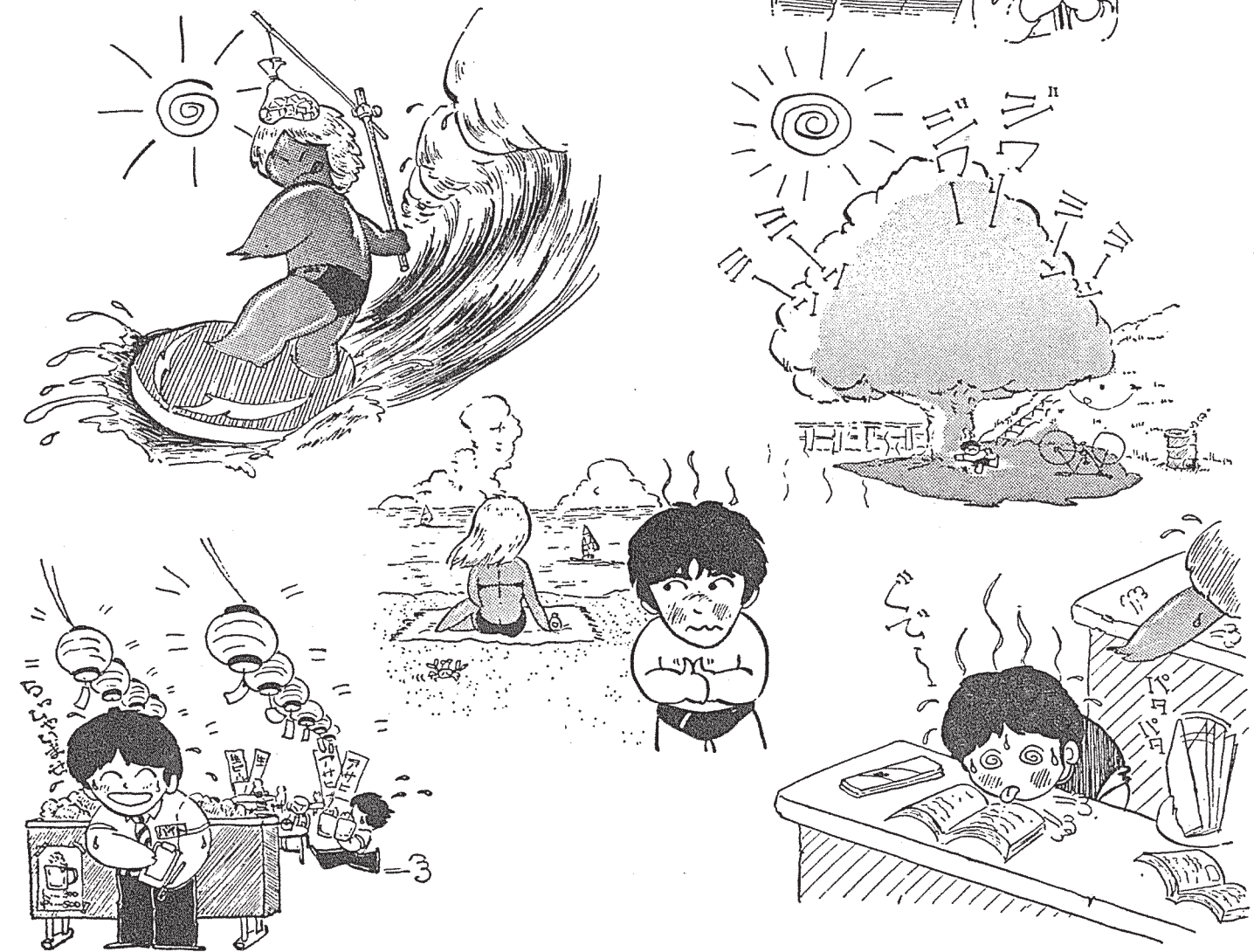




漫画同好会 謹製

CAMPUS VIEW &



61 秋

59 2

在学生総数(第一部)法・文・経済・商・社会工の六学部、第二部 法・文・経済・商・社会の五学部、大学院を合わせ約三〇、〇〇〇名。
関西大学創立一〇〇周年記念式典を挙行政。 (年史資料編集室)



総合図書館・情報処理センター建築工時の景況

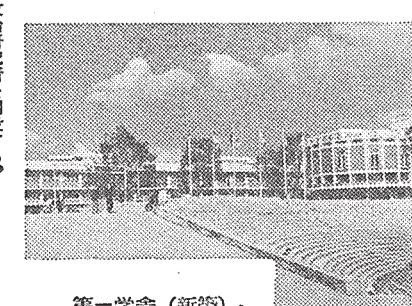
58 2

51 4

工学部を設置する。関西大学経済・政治研究所を開設する。
関西大学工業技術研究所を開設する。
社会学部を設置する。関西大学視覚聴覚教室を開設する。
関西大学電子計算機室を開設する。(57・4関西大学情報処理センター改組改称)。
大学院を大学院設置基準による「博士課程の大学院」に組織をのめる。関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館を開設する。
関西大学一般教育等研究センターを開設する。
関西大学総合図書館・情報処理センター建築工時に着工する。



創立70周年記念式典の景況▲式場



第一学舎(新築)、図書館(増築)、第一グラウンドスタンド(増築)

30 11

29 4

28 4

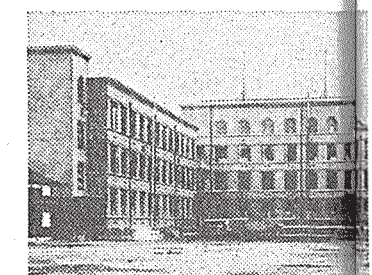
26 4

25 4

23 4

10 3

経済学部を経済学部と改称する。
新制関西大学に移行。法・文・経済・商の四学部、各第一部・第二部、発足する。
新制関西大学に移行。
関西大学東西学術研究所を開設する。
第二部の全学舎を天六学舎へ移転する。
関西大学考古学等資料室を開設する。
関西大学創立一〇〇周年記念式典を挙行政。



▲昭和初期の天六学舎



▼昭和初期の千里山学舎

4 9

4 4

3 4

2 3

千里山に大学本館落成する。
千里山図書館落成する。
天六学舎を開設する。
天六学舎を開設し、専門部を移転する。

15 8

14 2

13 8

13 4

【昭和】
千里山に大学本館落成する。
千里山図書館落成する。
天六学舎を開設する。
天六学舎を開設し、専門部を移転する。

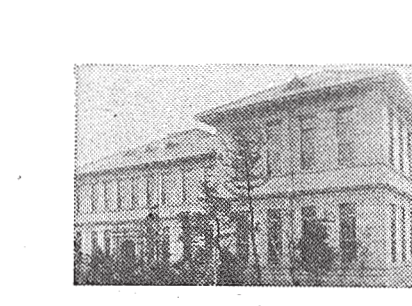
11 11

11 6

【大正】
千里山に大学本館落成し、同年5月天六学舎、天六学舎を移転する。
大学舎による関西大学として認可される。法学部(法律、政治二学科)商学部(商業学科)の二部を開設する。
商学部を開設する。
商学部を開設し、専門部を移転する。
法学部を法学部と改称し、文学部(哲学、英文学の二専攻)を増設(昭和3年4月開講)する。
千里山に大連館増築(第一ラウンジ、クラブハウス)落成する。



江戸堀学舎(明治38年~明治39年)



福島学舎(明治38年~昭和4年)

39 12

39 9

37 1

36 8

専門学校令による専門学校として設立認可される。大阪市西区江戸堀に江戸堀学舎落成し同年12月移転する。
経済学部を増設する。
私立関西大学と改称する。
商業学科を増設する。
大阪市北区上福島に福島学舎落成し、移転する。



願宗寺(表門、毎日新聞大阪本社提供)



興正寺本堂

20 19

4 11

【明治】
大阪・西區京町堀・願宗寺において、関西法政学校を創設し、開講する。
大阪・北區河内町・興正寺へ移転する。

関西大学一〇〇年の歩み

それで、冬の健康について、保健管理センターの先生は人間の生理の面から、体育の面からは運動の面から、自由で論じてもらい、非常に興味深いお話。ご意見を頂いた。願わくば、これを籠まれて少しは体が温かく、いや詰死になりますように。(八亀)

かたが毛を捨てるとに適切にできているのみであった。…哺乳類は一定の高い体温を保つることによって、テリゲータな生理的機能を最高の性能に保つのである。温度調節装置は命にかかわる重要性をもっており、厚く毛の多い断熱性の皮フは、熱の放散を防ぐ上で明らかに主役を演じている。毛皮はまた皮に強い陶器のものでは、過熱と皮フが日光に直接さらされて障害を受けることを防いでいる。

なぜ、人間だけがこんな大膽な自己のホメオスタシスを保つ毛皮を捨てしまったのだらうか。

近頃は御婦人のファッションとして毛皮は流行し愛用者が増えており、青年もまたタウン・ウエアで丸く膨れ上がっている。そこで、哺乳類の中で毛皮を捨てた同類を探してみると、

△飛ぶ哺乳類—コウモリ—is 翼を無毛にせざるをえなかったが、

推理 1. 狩猟性ヒトニザルはきかならない食性をもっていたので、先祖は裸になつた

立石 芳雄

他の部分は完全に毛を残しており、とうい裸の動物とはいいがたい。ケナシモグラネズミとかツチバネ等の地中性の哺乳類の一部に毛がすくなくなっているものがある。クジラ、イルカ、ジュゴン、カバのような水生哺乳類も全体が流線型になる一環として毛を失つた。

これらは、一応適応上の合理性がみられる。しかし地表に住む人間が何故か、

推理 1. ヒニザルは果実と漿果を食べて生活する樹上から離れ、既に先祖の草食肉食獣のいる地表へと、森での放浪生活をやめ、固定した巣の根拠地をもつ定住と帰巢能力を持つようになりた。その結果、彼等の巣穴が皮膚寄生虫にひどくおかされるようになり、毛皮を捨てることで、この問題に対応した。

推理 2. 狩猟性ヒトニザルはきかならない食性をもっていたので、先祖は裸になつた

立石 芳雄

で、毛皮がすぐ汚物でベタベタにかたまつて汚れてしまい、やはり病気の危険があったというのである。頭と首を血まみれの屍体に突っ込むハゲタカはその部分の羽毛を失つている。

推理 3. 森を離れたヒトニザルは、最初は水生として長い期間をすごしたものである。

△彼は、始めは岩の洞だまりや浅い所で餌を探したが、そのうち深みへ泳ぎだし、また清水を始め

たことだらうといふのである。ただしこれも水の土に出ては飼ただけでは毛が残って、太陽の直射を防いだ。

正解。△裸のサル肉体的裝備が獲物を追つて、電光のように疾走することにも、長く辛抱づよい追跡にも適していなかった。それにもかかわらず、裸の際の追跡はやりとげねばならぬ重要事であった。彼は体が過熱するを経験した。そこでこの過熱を減少させるように、毛のコートを失う一方、体表全体に汗腺の数が増したことによって、蒸発する液体の膜がたまりとりと生じ、相当な冷却効果を達成できた。追跡という重要な行動のためであった。この傾向が、皮下脂肪層の発達による体温保持と相補的だった。

毛の減少、汗腺の増加、皮下脂肪層の発達という三つの組合わせは、たえず重労働しつつあったわれわれの祖先のまさに望みのものを与えていたにちがいない。

人類の始祖に目を向けると、保温の中に健康をではなく、活動の中に健康を求めるべきでは……。 (保健管理センター所長代理)

運動とからだ

—— 末告 崇 眺 ——

動物とは、動くことによつてその生命が保たれています。人間も動物であることを自覚しなければなりません。絶対安静で、横になつたままと、せいぜい二十年ぐらいいか生きられないだろうと推測され、逆に理想的な生活を全うすれば、百二十歳ぐらいいまでも生きられるといわれています。

しかし現実の生活を考へてみるゝ、榮養の過不足・運動不足・不規則な生活・喫煙飲酒、精神的ス

ことは、瀬古選手の安静時の脈拍数は毎分あたり三十七・三十八で、一回ごとに全身に送り出される血液の量が、多く、酸素は効率よく全身にゆきわたり、疲れにくい等、良いことだらけです。車にたとえれば、大型エンジンをもったスポーツカーのようなもので、人並みはすれたスピードと持久性をかねそなえたすばらしい人です。このようにトレーニングをよやく人間と運動不足の人間とは相違がみられます。それが必ずしも健康に直結するとはかきりません。が、少なくとも運動不足が健康に役立つとは決まっています。

医学の長足の進歩により、寿命の伸び、死亡率は低下しました。が、人間の抵抗力や体力の向上本質味しているとはいえません。

これからは、体育・スポーツを通して人間の生活の質を向上させて、生きたいに直結するものといたします。高齢者になつても、運動やスポーツを継続し実施している人は、運動系の老化現象をききみにしななから、さらに遅らせることができ、かなりの年齢になつても、元気にスポーツを楽しむことができます。これによつて運動系の衰へをさらに先へのばし、日常生活も快適で、年をとるとも負担にならなくなつてきます。

このように、すばらしい高齢者になるためにも、若いうちからの体育・スポーツ活動の実践習慣が大切なことといえます。

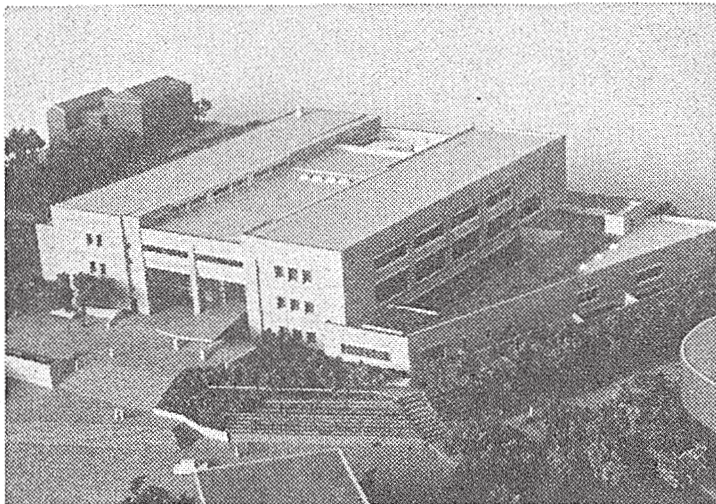
体の冬眠をおいはらい、寒い冬を元気にのりきつて下さい。

(文学部教授)

圖書館長 名取 榮史

本書所蔵の多くの「文庫」について、またその中の稀覯書・貴重文獻の若干については既に紹介されている。その「文庫」の中に成される「細江文庫」の全体として、**〇〇点**が、**細江英語学**、更にには**語学**という學問の風貌、**文学**と**文学**のかかりようを私たちに教

れた「内藤文庫」についても同様である。稀覯書・善本・海内の孤本の宝庫ともいうべき文庫であるが、その三万余点の多くがこればかりとは限るまい。『普通の典籍類も少なからずある。が、このすべてが、内藤史学、はたまた、中国学という広い視野をもつ、壮大な學問とそれへの方法を教えてくれよう。尤大な文獻資料から成るこれら個人文庫を保存整理し



建設中の総合図書館完成模型（昭和60年4月開館）

カリフォルニア工科大学

世界一の大学

カリフォルニア工科大学

カリフォルニア工科大学（略 創立のアメリカ屈指の名門大学
称カリテック）は、一八九一年だ。カリフォルニア州バサデナ

工学部教授 荒木兵一郎

『住まい再考』
——豊かな暮らしへの
提言——
（彰国社・一四〇〇円）

の装置や機械を作ろうとすれば、もはや既存の材料では間に合わない。新素材が強く求められる所以である。

この本は四人の著者が昭和五十年七月から毎週一回の割で、住まいに關する各種のテーマを分担して朝日新聞（大阪）の家庭欄に約一年間連載執筆したものに一部加筆したものである。本の内容とそのテーマは今から約五年も前に書かれたものであるにもかかわらず、一読して今日でも少しもその新鮮さを失っていないことに驚きを感じると共に、著者の眼の確かさを示すものといえよう。また副題が示すように「新しい具體的

ス、金属材料、有機材料に分類される。本書は現在我が國の先端材料の研究開發で活躍されている、工学部教授杉本孝一氏ほか十七氏が先端材料のそれぞれ専門の項目を分担し、（一）光ファイバー、新ガラス、高強度、電子の各セラムックス、（二）形状記憶、制振、アモルファス磁性、超電導、超磁性、耐熱の各合金、（三）液晶、エンジニアリング・プラスチック、分離膜、高弾性・高強度、電導性、感光性などの有機材料をと

（森北出版・一八〇円）

（森北出版・一八〇円）

最近よく話題になる先端工業がエネルギー、情報、材料の三本の

本号は受験生特集号として企画した。受験アドバイスあるのみ、平泉の学生生活、新素材の研究開発の現状を、そしてその後の教育の現状を、それぞれ分野のエキスパートの方々にも他分野の新材料を、上に極めて有用であると思われ、

(村上陽太郎)

▲編集後記▲

本号は受験生特集号として企画した。受験アドバイスあるのみ、平泉の学生生活、新素材の研究開発の現状を、そしてその後の教育の現状を、それぞれ分野のエキスパートの方々にも他分野の新材料を、上に極めて有用であると思われ、

(村上陽太郎)